グループホーム ふくよかの家、大平寺

地域密着型サービス評価の自己評価票

（ ▒▒ 部分は外部評価との共通評価項目です ）

取り組んでいきたい項目

項　目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅰ．理念に基づく運営				
1．理念と共有				
1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	事業所独自の理念を事業所内に掲示している。	○	今後も継続して実施していく。
2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	毎朝の朝礼時に職員が理念を唱和し、職員への浸透を図っている。	○	今後もより一層、理念を浸透、実践が出来るよう、教育を行っていく。ミーティングの場を活用する等により、職員自身が事業所の理念をどのようにケアに活かしていくかを考えるよう、問題提起していく。
3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にした理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	家族が額を見る度に、理念も目に出来るよう、額に本人の顔写真と理念を印刷し、プレゼントしている。 毎月、家族宛に写真を郵送する際に送付する挨拶文の用紙に、理念を印刷している。	○	今後も継続して実施していく。
2．地域との支えあい				
4	○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	利用者の方との散歩等で地域の方とすれ違う時は、気軽な感じで挨拶をこちらから交わすようにしている。	○	今後も継続して実施していく。
5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域の老人会の方との情報交換を図っている。	○	自治会や老人会に、出し物だけでは無く、交流も出来るボランティアを募っていく。地域行事や地域活動はグループホーム側からも参加し、地域の方との交流を図る。施設のイベントを、地域の方が来易いように告知し、地域の方を招いていく。

項　目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	現在、検討中。	○	外部(地域等)の方を対象に「介護教室」や「介護(を受ける為の)相談」等を開催していく。 地域の老人会等へ告知。大平寺の森の道路側に告知の立て看板を設置。
3．理念を実践するための制度の理解と活用				
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価・外部評価の内容を職員が自由に見られるファイルを作成し、回覧している。 評価項目への事業所としての取り組みで決定した内容は、主任を通じてスタッフに告知・指導がなされている。	○	今後も継続して実施していく。
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議では、運営等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	○	今後も継続して実施していく。
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる。	○	今後も継続して実施していく。
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持て、必要な人にはそれらを活用できるよう、事業所内に資料を設置し、自由に閲覧出来るようにしている。	○	今後も継続して実施していく。
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている	高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持てるよう、事業所内に資料を設置し、自由に閲覧出来るようにしている。 事業所内で虐待が発生しないよう、スタッフ間でのケアや意識の統一を常に図っている。	○	今後も継続して実施していく。

	項　目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	○	今後も継続して実施していく。
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	スタッフは、入居者の方への聞き取りを随時実施している。 又、聞き取った内容の中に関して、スタッフ間で話し合う必要があれば、話し合いを随時実施し、改善策を検討している。	○	今後も継続して実施していく。
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	家族が面会に来られた際は、スタッフからの近況報告を行っている。計画作成担当者は、計画書更新の際に家族宅を訪問し、目標達成状況等を報告している。利用者の健康状態で家族へ連絡すべきことがあれば、管理者より随時行っている。 金銭管理、職員の異動等については、出納帳の写しと近況報告（施設の新聞）を月一回家族へ郵送している。	○	今後も継続して実施していく。
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族の面会時、スタッフに対しての要望・意見等あれば、主任又は副主任が対応し、管理者への報告を行っている。計画作成担当者は、計画書更新の際に、家族宅を訪問し、要望や意見等を聞き取り、管理者へ報告・相談し、改善策を検討しスタッフへ伝達している。	○	今後も継続して実施していく。
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	管理者は、職員がいつでも自由に記入出来る、「アイデアノート」を設置しており、職員は随時提案を行っている。管理者はその内容を見て運営への反映を行っている。	○	今後も継続して実施していく。
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	入居者の状況に合わせての勤務形態（シフトを変更を何度か実施して来ている。必要な時間帯に職員を確保する為の話し合いを、スタッフ会議の場で随時実施している。	○	今後も継続して実施していく。
18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるよう、異動等を必要最小限に抑えている。職員が離職する場合は、利用者へは、「辞めました」とは伝えず、「事情で、長期休んでいます」と伝えるようにしている。	○	今後も継続して実施していく。

項　目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5．人材の育成と支援				
19	○人権の尊重 法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようにしている。また、事業所で働く職員についても、その能力を発揮して生き生きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されるように配慮している。	職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようにしている。また、事業所で働く職員についても、その能力を発揮して生き生きとして勤務してもらえるよう配慮している。	○	今後も継続して実施していく。
20	○人権教育・啓発活動 法人代表者及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる。	身体拘束、虐待、失礼な対応等が無いよう、随時指導を行っている。	○	今後も継続して実施していく。
21	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	管理者が作成した計画に基づき、研修の受講の指示がある。	○	今後も継続して実施していく。
22	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	地域の同業者と交流する機会は現在は持てていない。	○	今後、職員の知人の職場を見学・交流する事を、職員同士で互いに声掛けし合って行っていく。
23	○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	親睦会を随時実施している。	○	今後も継続して実施していく。

	項　目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
24	○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握しており、それに基づいた評価を実施している。	○	今後も継続して実施していく。
	1．相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
25	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	本人や家族との面談を実施し、困っている事や希望・心身の状態の聞き取り、嗜好調査、生活暦の把握等を行っている。	○	今後も継続して実施していく。
26	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	本人や家族との面談を実施し、困っている事や希望・心身の状態の聞き取り、嗜好調査、生活暦の把握等を行っている。	○	今後も継続して実施していく。
27	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相談から契約への対応は管理者が実施し、家族からの様々な話を聴き対応している。相談を受けた時に、入居までに必要であると思われる、通所介護や短期入所生活介護等を紹介する事を行っている。	○	今後も継続して実施していく。
28	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	併設のショートステイ利用からグループホーム入居へと移行する方の場合は、事前に慣れていただくため、日に一度はグループホームに来て過ごしていただく時間を設けるように支援している。自宅生活から入居となる方の場合は、不安を和らげ、周りの方とのコミュニケーションを取っていただけるようスタッフが配慮している。	○	今後も継続して実施していく。
	2．新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
29	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員は常に、「～してあげる」という意識ではなく、入居者と一緒に楽しむよう、援助を行っている。各入居者の生活暦を重視し、本人が得意であった分野や興味があった事を教えていただくコミュニケーションを取れるよう、配慮している。	○	今後も継続して実施していく。

項　目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
30	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	職員は、家族との面会時に家族の心情を理解するよう、努めている。また、本人が望む物で、家族への負担にならないものは、家族に協力の依頼を行っている。(本人の馴染みの物を面会時に持参していただく等)	○	今後も継続して実施していく。
31	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	入居前の家族への聞き取りで、今までの家族関係を聞き取っている。入居者が、「(家族に)捨てられた」等の発言をされた場合には、そうではない事を職員は説明するようにしている。必要に応じて、本人が安心出来るよう、「ご家族は安心して働けるよう、ここに預けられた」と説明するようにしている。	○	今後も継続して実施していく。
32	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	本人の馴染みの人や場所は、「生活史シート」を家族の方に記入していただき、本人からも聞き取りをして、その事を理解した上で会話の援助を行っている。本人の馴染みの場所へドライブに行く事も行っている。入居者が馴染みの友人等へ葉書を出せるよう支援を行っている。	○	今後も継続して実施していく。
33	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	利用者同士の馴染みの関係を考慮した座席位置を取れるよう職員は配慮しており、問題が生じた際には随時座席位置の変更を行っている。難聴のある入居者が他の方とコミュニケーションを取り易くするため、職員は会話を中継する等の配慮を随時行っている。	○	今後も継続して実施していく。
34	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	サービス利用が終了した後、併設の通所介護利用となった方と、利用者との馴染みの関係が継続出来るよう、通所介護でのレクリエーションに定期的に参加している。	○	今後も継続して実施していく。
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント **1．一人ひとりの把握**				
35	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	モニタリングを3ヶ月に1度実施しているが、本人からの訴えがあれば随時意向の聞き取りを実施している。主任から各担当職員へ、目標に基づき本人が何をしたいのかを聞き取って欲しい、と伝えている。利用者が出来る事を見出して、現在していただいていることを継続してもらえるよう伝えている。	○	今後も継続して実施していく。

グループホーム ふくよかの家、大平寺

項　目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
36	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時、ご家族に「人生史シート」の記入をお願いし、把握に努めている。入居前のご家族との面会時にも聞き取りを実施している。	○	今後も継続して実施していく。
37	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	一人ひとりの心身状態を常に把握し、適切な生活リハビリを実施している。必要に応じて休息を適宜取ってもらっている。一人ひとりの生活リズムや過ごし方、心身状態、有する力等の現状に合わせた援助を実施している。	○	今後も継続して実施していく。
2．本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
38	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映した介護計画を作成している	各担当職員が作成した支援マップに沿って、本人の望まれると思われる事を把握している。計画作成担当者は、各担当職員と話し合い、サービス計画の目標に対するサービスの実施状況を把握し、計画の評価を行っている。作成した計画書は家族に会い、説明の上、意見を聞き同意を得て交付している。又、ご家族からの希望があれば、各スタッフへ伝達を行っている。	○	今後も継続して実施していく。
39	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	サービス計画は3ヶ月毎の評価・更新を行っている。入退院等に伴い、ケアの変更が必要になった場合は、現状に即した計画になるよう、随時内容を変更している。	○	今後も継続して実施していく。
40	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	スタッフの気付きは申し送り、必要なケアの変更を随時行っている。計画書の更新の際にケア変更した内容も含めて評価し、必要があれば新たな計画内容に反映させている。	○	今後も継続して実施していく。
3．多機能性を活かした柔軟な支援				
41	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	当事業所独自の多機能性を活かし、デイサービスのスペースで催されるイベントやスーパーレクリエーション等への参加を行っている。デイサービスの送迎車を使用し、グループホームの外出を定期的に実施している。	○	今後も継続して実施していく。

項　目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4．本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
42	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	ボランティアによる出し物の鑑賞を随時行っている。	○	今後も継続して実施していく。
43	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	訪問理美容、訪問歯科、外部業者によるクリーニング利用（グループホームでは洗濯出来ない物）、皮膚科訪問診療、併設診療所受診の支援を行っている。	○	今後も継続して実施していく。
44	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	現在行っていない。	○	今後は、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働して行きたい。
45	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	定期的にかかり付け医の受診が出来るよう支援を行い、受診が出来ている。	○	今後も継続して実施していく。
46	○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	精神科医師を招き、受診が必要と思われる利用者が看てもらえる場を作っている。	○	今後も継続して実施していく。
47	○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	看護師長や併設診療所の看護師に随時相談を行い、日常の健康管理や医療活用の必要なアドバイスを受けている。	○	今後も継続して実施していく。

項　目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
48	○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	退院の時期等については、入院先の病院と随時確認の連絡を取っている。	○	今後も継続して実施していく。
49	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化した場合や終末期のあり方について、管理者は随時、本人や家族と必要な話し合いを行っている。スタッフ間での方針・情報の共有は申し送りによって出来ている。	○	今後も継続して実施していく。
50	○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	グループホームで出来ること・出来ないことの見極めは随時行っている。かかりつけ医との連携を取り、指示を受けて実行出来ている。	○	今後も継続して実施していく。
51	○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	ショートステイ利用からグループホーム入居へと移行される方の場合は、ショートステイ利用中に毎日少しでもグループホームに慣れていただく時間を作っている。 自宅での生活からグループホーム入居となる方については、スタッフが他のゲストに紹介を行い、周りの方々に慣れられるまでの間は、周りの方との会話がなされるようスタッフが配慮を行っている。	○	今後も継続して実施していく。
Ⅳ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 **1. その人らしい暮らしの支援** **(1) 一人ひとりの尊重**				
52	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	スタッフに不適切な発言が見られた時は、スタッフ間で注意を行っている。ゲストの方のプライバシーを尊重し、他のゲストの方に漏れることの無いよう、スタッフは気を付けて会話を行っている。	○	今後も継続して実施していく。

項　目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
53	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	スタッフは、ゲストの方が思いを表せ易くなるよう、冗談交じりでお聞きしている。普段の様子観察から、随時本人への希望の聞き取りを行っている。本人の分かる力に合わせた表現での説明や利用者の性格に応じた対応を行い、自己決定が出来るように、配慮して接している。	○	今後も継続して実施していく。
54	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	趣味や希望、個々の生活リズムに沿った過ごし方が出来るよう、本人に希望を聞きながら支援している。体操への参加等の声掛けは強制ではなく、しない方はソファーに座ったままで過ごしていただいている。食事摂取に時間がかかる方へは、本人のペースを大切にするため、一定時間は見守り、その後に介助を行っている。	○	今後も希望に沿えるよう継続して援助を実施していく。
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援				
55	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	自分で選べる方以外、職員が本人に合う衣服を提案する援助を行っている。理美容は、訪問業者を利用しているが、カットについては、希望を言われる方は本人の希望に沿うように、言えない方は家族からの希望に沿うようにしている。化粧をされる方は必要な準備や声掛け等をスタッフが援助している。	○	今後も希望に沿えるよう継続して援助を実施していく。
56	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の盛り付けは職員の見守りの下、利用者の方につぎ分けをしていただいている。食事は職員と利用者で一緒に食べている。後片付けは利用者の方に出来るだけしていただくように声掛けしている。	○	今後も継続して実施していく。
57	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	飲酒・喫煙を希望される方は全くいない。飲み物に関して、乳製品が飲めない方へは、ジュースを提供している。おやつの時間は、ジュース(各種)・ムース・プリンを交互に提供している。	○	今後も継続して実施していく。
58	○気持よい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	各自の排泄パターンに合わせたトイレ誘導を確実に実施し、出来るだけ失禁無くトイレでの排泄が可能となるように援助を行っている。	○	今後も継続して実施していく。

	項　目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
59	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴日は(火)・(木)・(土)曜日と決めているが、急かすことなく本人のペースで入浴をしていただいている。	○	今後も希望に沿えるよう継続して援助を実施していく。
60	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	職員は一人ひとりの観察を常にしており、利用者の方がきつそうな様子が見られる時は、随時横になって休息を取ってもらっている。	○	今後も継続して実施していく。
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
61	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	家事では、副食のつぎ分け、拭き掃除、箸ならべ、洗濯物たたみをしていただいている。レクリエーションでは、紙風船を扇ぐゲーム、風船バレー、クイズ・暗算等を交互に提供している。それ以外には、一人ひとりの希望や趣味に合わせ、貸し出し図書の設置、絵を描く方へのお誘いと準備、歌う音楽会への参加の支援、外出の援助等を行っている。	○	今後も継続して実施していく。
62	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お金の所持は、現在の入居者の方にはトラブルの元となる可能性が大きい為、施設で管理し、本人にはしていただいていない。外出レクでは、ショッピングモールに行くこともあり、買い物が可能な方にはしていただくよう援助している。	○	今後も希望に沿えるよう継続して援助を実施していく。
63	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	その日の天候を見て、施設の中庭や周囲の散歩、近隣へのドライブを随時実施している。月間計画としての外出レクも毎月計画し、実施している。	○	今後も希望に沿えるよう継続して援助を実施していく。
64	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	その季節に合った場所への外出レクを毎月計画し、実施している。行き先については、入居者の希望を聞き、出来るだけそれに沿えるようにしている。食事会も開催している。	○	今後も希望に沿えるよう継続して援助を実施していく。

項　目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
65	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	絵手紙を友人・知人に出される方には、絵手紙制作の時間を持っていただけるよう支援している。自分で電話ができる方には長電話にならないようにして、自分でしていただいている。	○	今後も希望に沿えるよう継続して援助を実施していく。
66	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも訪問出来、居室でゆっくりと過ごしていただけるようにしている。	○	今後も継続して実施していく。
(4) 安心と安全を支える支援				
67	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	介護保険指定基準において禁止の対象となっている行為は身体的拘束その他入所者(利用者)の行動を制限する行為である事が分かる資料を設置し、職員はそれを理解して身体拘束をしないケア援助を実施している。	○	今後も継続して実施していく。
68	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	入居者の自由な暮らしを支え、入居者や家族等に心理的圧迫をもたらさないよう、日中は居室等に鍵をかけなくてもすむような配慮など身体拘束をしない工夫をしている。やむを得ず鍵をかける場合は、その理由を家族に説明し同意を得ることにしている。	○	今後も継続して実施していく。
69	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	職員は昼夜を通じて常に、利用者のプライバシーに配慮し、さり気なく観察しながら、安全に過ごせるように配慮している。	○	今後も継続して実施していく。
70	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	注意の必要な物品は、職員が個々の利用者に対して、確実に所在を把握し安全確保出来るよう見守り、利用者に渡しっ放しにしないように管理を行っている。	○	今後も継続して実施していく。
71	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	各テーマに沿った資料を用意し、職員が学べるようにしている。	○	今後も継続して実施していく。

	項　目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
72	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	職員は施設全体の救急救命法の講座を受講している。	○	今後も継続して実施していく。
73	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	定期的に施設の避難訓練を実施し、利用者が安全に避難出来る体制を確保している。	○	今後も継続して実施していく。
74	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている	起こり得るリスク(転倒や異食行為等)について、出来る限りの見守りを実施している事や、その予防策についての配慮を行っている事を、随時家族へ説明している。	○	今後も継続して実施していく。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
75	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	常に利用者の体調の変化や皮膚の観察等を実施し、変化があれば早期に医療機関受診を行えるよう援助している。	○	今後も継続して実施していく。
76	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	職員は、入居者が使用する薬の目的や副作用、用法や用量を承知しており、入居者一人ひとりが医師の指示どおりに服薬できるよう支援し、症状の変化を確認している。	○	今後も継続して実施していく。
77	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	便秘への理解を深められるよう、資料を用いて職員への周知を図っている。便秘の利用者の方へは、水分をより多く摂取していただくこと、腹部マッサージ、運動等を支援出来るよう対策を取っている。	○	今後も継続して実施していく。

項　目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
78	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	入居者の力を引き出しながら、口の中の汚れや臭いが生じないよう、口腔の清潔を日常的に支援している。(歯磨き・入れ歯の手入れ・うがい等の支援、出血や炎症のチェック等)	○	今後も継続して実施していく。
79	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	利用者一人ひとりの毎日の食事・水分摂取量を記録し、必要量の摂取がなされるよう、個別に支援を行っている。	○	今後も継続して実施していく。
80	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	インフルエンザ、肺炎球菌ワクチンの必要性を家族に認識していただき、出来るだけ予防接種を利用者に受けていただくよう薦めている。ノロウィルスの蔓延を防ぐための処理手順を社内研修の機会を設けて職員に伝え、実施している。	○	今後も継続して実施していく。
81	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	厨房は外部業者に委託しており、決められた手順に則って衛生管理、調理が出来ている。	○	今後も継続して実施していく。
2．その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1) 居心地のよい環境づくり				
82	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	施設と道路との境は夜間以外常に開放しており、気軽に入れるようにしている。グループホームの専用玄関は、親しみ易く、安心して出入りが出来るような雰囲気が出せるよう、材質や看板の書体に工夫を凝らしている。	○	今後も継続して実施していく。
83	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	毎日、共用の空間及び居室の清掃を実施し、不快な臭いが無いように支援している。又、必要に応じて、清掃を小まめに実施している。照明は適度な明るさが保たれるよう、常に配慮を行っている。季節に合った制作物や、壁新聞等を掲示し、居心地良く過ごせるよう、配慮している。	○	今後も継続して実施していく。

項　目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
84	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	利用者の好まれる場所で寛いで過ごせるように支援を行っている。気の合った方同士での会話が出来るよう、座席位置を常に職員が配慮し、誘導を行っている。	○	今後も継続して実施していく。
85	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	本人や家族の意向を十分に取り入れ、馴染みの物や使い慣れた物を傍に置いた生活が出来るように支援を行っている。	○	今後も継続して実施していく。
86	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	毎朝の空気の入れ換え及び、必要時の換気を行い、気になる臭いがよどまないように支援している。エアコンによる室温調節は、外気温との極端な温度差が無いよう、小まめに配慮を行っている。	○	今後も利用者の状況に合わせ、継続して実施していく。
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
87	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	各利用者の居室には、顔写真と氏名を貼っており、居室を認識し易くする工夫がなされている。施設内は全てバリアフリーで、トイレは全ヶ所とも車椅子で入れる幅の扉開口部を確保している。	○	今後も利用者の状況に合わせ、継続して実施していく。
88	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	一人ひとりのわかる力に応じた生活上の援助を全てに亘って行っており、失敗や混乱を招かないように配慮を行っている。	○	今後も利用者の状況に合わせ、継続して実施していく。
89	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	バルコニーのウッドデッキには観賞用の花や、テーブル・椅子等を用意し、外で過ごす時間を楽しめるように活用している。	○	今後も継続して実施していく。

Ⅴ．サービスの成果に関する項目

項　目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
90	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○	①ほぼ全ての利用者の
			②利用者の2/3くらいの
			③利用者の1/3くらいの
			④ほとんど掴んでいない
91	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある
			②数日に1回程度ある
			③たまにある
			④ほとんどない
92	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
93	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
94	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
95	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
96	利用者は、その時々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
97	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている	○	①ほぼ全ての家族と
			②家族の2/3くらいと
			③家族の1/3くらいと
			④ほとんどできていない

グループホーム　ふくよかの家、大平寺

項　目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
98	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている		①ほぼ毎日のように
		○	②数日に1回程度
			③たまに
			④ほとんどない
99	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている
			②少しずつ増えている
			③あまり増えていない
			④全くいない
100	職員は、活き活きと働けている	○	①ほぼ全ての職員が
			②職員の2/3くらいが
			③職員の1/3くらいが
			④ほとんどいない
101	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
102	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が
			②家族等の2/3くらいが
			③家族等の1/3くらいが
			④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】
(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

ご利用者様、ご家族様の個々のご希望に出来るだけ沿った生活が実現出来るよう、力を入れて支援に取り組んでいます。施設内のみでの単調な生活にならず、気分転換や適度な運動となるよう、散歩やドライブを出来るだけ多く取り入れています。